

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

I. 概況

いざなぎ景気以上の好景気が続いているという報道に対して、生活面ではなかなか景気観が感じられませんが、求人倍率が上がって売り手市場と言われ、中小企業においては人材不足になっております。しかし、アジア諸国の経済成長率は上がってきているものの、日本においては目標の 2%には達成しておりません。大企業と中小企業の経営状況には大きな差が有るものと思われま

す。
平成 29 年度の新技术協会の事業運営につきましては、新技术協会の会員企業の減少に有効な対応ができず、減少が続いています。そのため、事業の運営につきましては、人件費や事業費の削減に努めました。

受託事業につきましては、昨年に引き続きまして科学技術振興機構より、年間を通しての「管財管理運営業務」及び「新技术説明会運営業務」を受託し、また、「大学発ベンチャー表彰事業委員会開催業務」、「給与明細書発送業務」、新たに「新技术説明会実施後の追跡調査」を実施してまいりました。

自主事業につきましては、会員を対象とした研修事業の会費の減少が大きいなどにより、正味財産の減額が生じております。

会員企業の減少につきましては、会員の希望する事業などが十分に行われていない事などの現れであり、新たな事業の展開など活発な活動を進めて会員の維持増加に一層の努力が必要であります。

平成 29 年度の各事業の活動状況の概況は以下のとおりです。

II. 自主事業

1. 技術情報提供事業

科学技術雑誌の配布として、科学技術動向に関する「JSTニュース」並びに「産学連携ジャーナル」を毎月 1 回配付した。また、科学技術振興機構が実施している新技术説明会、イノベーションジャパン、JSTフェア等の情報を配布した。

2. 交流促進事業

(1) 企業経営者交流会の開催

- ① 平成 28 年度「異業種企業間経営者交流会（朝食会）（全 10 回）（28 年度より継続）
平成 29 年 4 月～平成 29 年 7 月（4 回） 21 名 於 帝国ホテル

- ② 平成 29 年度「異業種企業間経営者交流会（朝食会）（全 10 回）（29 年度発足）
平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月（6 回） 17 名 於 帝国ホテル

3. 研究会・セミナー等開催事業

(1) 研究会・セミナーの開催

- ① 平成 28 年度「創造型企業リーダー育成研究会」（全 10 回）（28 年度より継続）
平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月（5 回） 於 科学技術振興機構 等
講 師：(有)ヒューマンリンク 代表取締役 田上 勝俊 氏
前 (株)リコー 取締役専務執行役員 酒井 清 氏
参加者：11 名
- ② 平成 29 年度「創造型企業リーダー育成研究会」（全 10 回）（29 年度発足）
平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月（6 回） 於 科学技術振興機構 等
講 師：(有)ヒューマンリンク 代表取締役 田上 勝俊 氏
前 (株)リコー 取締役専務執行役員 酒井 清 氏
参加者：10 名
- ③ 第 8 回「知的財産権と創造的経営」研修会（全 10 回）（29 年度発足）
平成 29 年 4 月～平成 30 年 1 月（10 回） 於 科学技術振興機構
講 師： 西澤国際特許事務所 所長・弁理士 西澤 利夫 氏
元 パナソニック 電工(株) 知財渉外部長 弁野 純一 氏
参加者：5 名

(2) 講演会の開催

第 1 回：平成 29 年 6 月 27 日 於 法曹会館

演 題：マンガノジュールの海底調査

講 師：国立研究開発法人 海底資源研究開発センター
研究開発センター長 木川栄一氏

参加者：32 名

概 要：マンガノジュールは、マンガン含有率が約 30%、他にニッケル、銅、アルミニウムなどの金属を含む有用な海底鉱物資源で、平成 28 年に南鳥島沖の日本の排他的経済水域内において、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）などの研究調査チームが初めて、広大な濃集域を発見した。

講演ではこれまでの調査の概要と開発に向けた我が国の取組みについて紹介された。

4. 研究施設等視察会開催事業

実施なし

5. 機関誌発行事業

会報誌発行なし

III. 受託事業

- | | |
|--|----------------|
| (1) 管財管理運営業務 (継続) | — 科学技術振興機構 — |
| (2) 給与明細発送業務 (継続) | 同上 |
| (3) 新技術説明会運営業務 (継続) | 同上 |
| (4) 大学発ベンチャー表彰 2017 運営支援業務 (継続) | 同上 |
| (5) 新技術説明会実施後の追跡調査業務 (新規) | 同上 |
| (6) 科学技術調査研究助成事業追跡調査の総括及び優れた助成課題の抽出と展開状況等の把握、分析 (平成 28 年度受託分の継続) | — 新技術振興渡辺記念会 — |
| (7) 地域社会における人とモノの移動の方向性に関する調査研究 (新規) | 同上 |

IV. 助成による調査研究

- | | |
|---|----------------|
| (1) 「農業生産における工業生産管理技術の適用に関する調査研究」
(新技術振興渡辺記念会の助成事業による調査研究) | — 新技術振興渡辺記念会 — |
| (2) 「人とロボットの良好なインタラクションの構築に関する調査研究」 (同上) | 同上 |

V. その他

第 1 回理事会	平成 29 年 5 月 26 日	於 日本工業倶楽部
総会・会員交流会	平成 29 年 6 月 27 日	於 法曹会館
第 2 回理事会	平成 29 年 6 月 27 日	於 法曹会館
第 3 回理事会	平成 30 年 3 月 23 日	於 日本工業倶楽部